

令和 6 年度第 3 回図書館利用者懇談会記録

名称	令和 6 年度第 3 回 図書館利用者懇談会
日時	令和 7 年 3 月 2 0 日（木）午前 1 0 時から 1 1 時 3 0 分まで
会場	目黒本町社会教育館レクリエーションホール
出席者	1 9 人 内訳 利用者 9 人 区側（図書館・事務局） 1 0 人 八雲中央図書館長、庶務係長、事業計画係長兼大橋図書館長兼緑が丘図書館長、企画調整担当係長兼目黒区民センター図書館長、資料係長兼守屋図書館長、サービス係長兼目黒本町図書館長兼洗足図書館長、貸出・予約係長兼中目黒駅前図書館長、事務局（庶務係）
懇談会次第	1 開会 2 八雲中央図書館長挨拶 3 図書館からのお知らせと意見交換 4 閉会
配布資料	1 次第 2 目黒区の教育 令和5年度事業報告書 図書館抜粋(5Ⅲ図書館) 3 広報めぐろ令和 7 年 3 月 15 日号 4 アンケート

主要な発言

1 開会

2 八雲中央図書館長挨拶

図書館長：日頃から目黒区立図書館ご利用くださり、ありがとうございます。また、本日は令和 6 年度第 3 回利用者懇談会にご参加いただき、ありがとうございます。

この利用者懇談会は、図書館をご利用いただいている皆様と、図書館職員との懇談を通して、より皆様に親しまれる図書館づくりを進めていくことを目的として開催しています。区立図書館では、区民の皆様の利用を促進して、読書活動を推進するために、日頃から様々な取り組みを行っています。本日は令和 6 年度に実施した取り組み等をご紹介させていただきたいと思っております。その後、皆様が図書館をご利用いただいている中で感じられていることやご意見等を伺いたいと思っております。本日の懇談会が皆様にとって図書館に対する理解を深めていただく機会となることを願っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（図書館出席者紹介）

3 図書館からのお知らせと意見交換

図書館：まず図書館から令和 6 年度に図書館で実施した取り組みや、来年度の取り組み予定を担当係長からお話しさせていただきます。そのあと皆様と情報交換をしたいと思います。できましたら、発言の前にお名前と主にご利用いただいている図書館を

お話しいただければと思っております。

図書館：図書館の6年度の事業実績についてご紹介します。まず、4月23日から5月12日に読書推進運動協議会による子どもの読書週間があります。図書館では区民の利用を促進して、読書活動を推進していくために、目黒区立図書館基本方針の目指す方向性を踏まえて、様々な取り組みを行っております。目黒区立図書館ではこの期間中、その中で示されている、「子どもたちを本の世界へいざなう」という取り組みの一環として、様々なイベントを実施しました。

例えば、目黒区立図書館では初めてとなる「ぬいぐるみたちの秘密のお泊り会」を中目黒駅前図書館で実施しました。10名のお子さんからお預かりしたぬいぐるみを閉館後の夜の図書館で写真撮影して、イベント終了後その写真を館内ポスターやパネルで展示するとともに、貸出用の絵本1冊とおみやげの葉と簡単なお泊り会アルバムをプレゼントしました。八雲中央図書館では、「図書館にあるいろいろな本を読もうスタンプラリー」を実施しました。テーマにあった本を借りてスタンプ5個をためた方に景品をプレゼントしました。読書期間中に332名の参加をいただきました。他には、「読書の木を彩ろう」といって、利用者から図書館で借りた本の紹介文を募集して、その紹介文を皆さんに見ていただきました。さらにはお話し会と工作会を同日実施するなど、各図書館のスタッフが知恵を絞り、工夫を凝らしたイベントを行いました。

お子さんにもっと図書館を利用していただくことを目的として、昨年度も夏休みイベントを実施しております。主なものをご紹介しますと、八雲中央図書館では「図書館に本が並ぶまで、本を作って装備してみよう」と題して、参加した10名のお子さんに小さな本を作っていただき、ブックカバーを貼るイベントを実施しました。大橋、区民センター、目黒本町の各図書館では「図書館クイズラリー」を実施し、答えを探す過程の中で、本を探すこと、調べることに挑戦していただきました。この3館合計で、1,153人のお子さんに参加していただきました。また緑が丘図書館の児童書の保存庫を巡るツアーとおはなし会を実施して、参加者は29名でした。他にもオリジナルサマーリースを作成する工作会等、多くのお子さんたちに来館していただき、本に触れたり体験したりして、夏の思い出作りの一助となったことと思います。多くの子どもたちや親御さんに図書館のイベントが認知されて、図書館に行ってみたいと思う子どもたちが増えることを目的として、7年度4月以降も春の子ども週間イベントや夏休みイベントを実施します。春の読書週間の案内は、4月15日号の区報で紹介予定です。

図書館：昨年の秋の読書週間に行ったものをご紹介します。今年度の利用者懇談会は本日で3回目ですが、第2回目は八雲中央図書館のバックヤードの見学後に懇談会を行いました。多くの方にお申込みいただき、抽選になり、保存庫や装備等の見学の後に様々なご意見を伺うことができました。大橋図書館では、本の内容をクロスワードにしたところ、100人を超える参加がありましたが、クロスワードが完成した方は20人弱でした。本を読んで調べないと分からない問いがあり、読書をきっかけにクロスワードをやっていただくことが、意外と難問で楽しかったという感想をいただいております。中目黒駅前図書館と守屋図書館では、本自体は袋に入っていて中身は分から

ず、紹介する文章やコメントだけで本を借りていただく「ブラインドブック」というイベントを実施しました。洗足図書館では、利用者に気に入っている本をご紹介いただく企画を行いました。利用者の方も参加できる企画がどの図書館でも好評でした。

また、テーマ展示を各図書館で積極的に実施しています。色々な分類のものを一つのテーマで目に見える形で並べて提供し、ご利用いただいている方に、新しい視点や観点を呼び起こしていただく目的で行っております。お気に入りの作家や書架や分野があって、来館時はいつも行くところが一緒ということが多いと思います。普段は行かない書架の本も一番目に見えるところに置いて、改めて新しい興味関心に利用者自身も気づいていただける取り組みとして非常に効果があると思っております。

先月八雲中央図書館では、「プレゼンテーション」というテーマで展示を行いました。プレゼンテーションのテーマ展示というと、パワーポイントや動画の作り方等技術的な本を展示することはあると思いますが、魅力的な話し方や人前であがらずに話す方法等の本も並べたところ、実用書よりもこちらのほうが人気でした。初級者向けから、あと一工夫欲しい方への本等も集めて出していました。一つのテーマでも切り口を様々なところから考えて、多分野から集めた本を展示しています。テーマ展示というと例えばひな祭り等、季節のものが多くありますが、明るく楽しくにぎやかな本ばかりでなく、男女平等や防災、9月には自殺対策という少しネガティブに思われがちなテーマも区民の方に知っていただく目的で行っております。区の所管や事業と連携をして、事業の広報的な役割も担っています。また八雲中央図書館では、区内の医療機関と合意書を締結し、健康推進課や国立がんセンターの協力も得て、一番新しい情報を提供できるようにしております。健康と医療の情報コーナーで設置していますので、ぜひご覧ください。区の作った「健康めぐろ21」に基づいて、その中にある6つのテーマに沿って、がんや食育等のテーマ展示をしています。中目黒駅前図書館では、「働く人を応援するコーナー」を3年程続けています。継続的に仕事や問題解決、職場の人間関係等の資料を展示して、多くの利用者の方にご好評いただいています。先日は「手帖の活用術」を企画し、こちらも人気でした。展示が終わると本が入れ替わりますが、過去の展示本のリクエストにも対応できるように、リスト化してウェブサイトに掲載しております。ぜひご利用ください。

図書館：今年度も様々な図書館の取り組みを実施してまいりました。参加された感想や、企画のご希望等のご意見がありましたらお願いします。

参加者：イベント自体に参加したことはありませんが、図書館の方々は本に関する知識がとても豊富だと思います。本屋大賞や書店が実施しているような、おすすめの本等の図書館の方々の視点でみたランキングものがあったら面白いと思います。

参加者：子どもや幼児向けの読書会はあるのですが、社会人や高齢者向けはあまりありません。それで良い本に巡り合う機会を作っていただけないかなと思っています。方法としては、図書館側からの発信のほか、利用者のこの本はよかったという感想を情報交換できる場があると良いと思います。「ちょっと大人のおはなし会」がありますが、もう少し充実させてほしいと思います。こんな本を読んだら心に響いたとかを発表していただきたいです。どんなジャンルの本でもはじめ書きと終わり書きがある

ので、お読みになったかたが、終わり書きを発表してくれるといいなと思います。最後にはじめ書きをその方のご意見があればお聞きしたいと思います。批判ではなく、寛容なお話を聞ける機会を少しずつ実験的に取り組んでいただけると、私も読むジャンルが広がって助かります。

図書館：子ども向けだけでなく、大人向けの自分たちも参加できるイベントを開いてほしいというご意見をいただきました。昨年度から「ちょっと大人のおはなし会」を実施しております。八雲中央図書館の業務委託を担当しているスタッフからも子ども向けのおはなし会では読むのが長かったり、難しかったりするものでも良い本がたくさんあるので紹介したいとあり、大人向けに行うことになりました。10人くらいに毎回ご参加いただいております、楽しみにしているとお声もいただいております。引き続き来年度も続けていく予定になっておりますので、よろしければご参加ください。

図書館：秋の読書週間に「私の推し本」というテーマで、好きな作家と感想を記載していただく取り組みをしました。700人くらいの方に投票していただき、ランキング形式で本を紹介しました。皆様が読んでいる本が直接お互いに伝わるという意味で、効果があったと思っております。

各館でそれぞれ特色ある取り組みをしており、大橋図書館の例では、本自体は展示しませんが、今月は、「これまでに読んで泣けた本」というテーマで紹介文を書いてそれを掲示しています。そこに貼っている本の情報から本を探して読めることにつながる所以これが好評で、テーマも偏らず、「泣ける本」、「子どもの時に親に勧められて読んだ本」、大人の方に「昔読んだ本」等、そのような一つテーマを決めて、継続的に行っております。

図書館：ウェブサイト上で、職員が本を紹介する取り組みも行っております。毎月中・高校生向けにYA（ヤングアダルト）の本を紹介しております。八雲中央図書館の職員が自分で読みその紹介文を書いて、ウェブサイトにあげるということを何年も続けております。職員の言葉で出しておりますので、ウェブサイトをご覧ください。

図書館：守屋図書館は、委託事業者が企画を立て、子どもたちを対象におはなし会と一緒に工作会を企画しております。「ガチャガチャを自分たちで作る」という企画は、ひねると中に入っているものが出てくるもので、子どもたちはとても喜び、中に入っていたものはそのまま差し上げたりしています。おはなし会ももちろん大切ですが、また来てみたいと思っていただける取り組みとして行っております。

図書館：区民センター図書館では、中・高校生向けのYAコーナーの本を充実させました。子ども関係では、区民センター図書館は建物が何層かに分かれており、児童コーナーが地下1階にあります。カウンターが入口から入った1階の少し下がったところにあり、そこに料理本や暮らしの身近な本を置いています。子どもの本が地下1階で保護者の方の借りたいレシピ本は1階のカウンター近くで離れていたため、保護者の方が、子どもを見ながらレシピの本を見られるように、地下1階に「出張レシピ本コーナー」を作りました。

イベントとしては、去年の7月に目黒区美術館と連携して、童画という概念を作られた絵本作家の展覧会をしました。その方の展覧会に合わせて、図書館でもこの方の

本やイラストを展示しました。また、その影響を受けた画家の本も展示しました。その時に、大正時代や昭和初期の本なので、実質的には大人向けの紙芝居とおはなし会を行いました。大変好評で延べ 100 人近くの方がおはなし会に参加されました。この絵本作家のオリジナルの本の形をしている美術品をコレクションされている方がおられ、その方がぜひ図書館で皆様にこの本を手にとって欲しいということで、貸出はしませんでした。その場で見ていただくという会を開きました。美術館へ美術品を見にいらした方が、美術館ではガラスの向こう側にある美術品のオリジナルを手にとって開いて絵を見ることができるということで、美術館から図書館に来館される方、図書館でそれを見て、美術館の方へ行くというような、館から館への流れがその時にできて大変好評でした。

図書館：貸出予約係から、中目黒駅前図書館と全館にかかわるサービスについて、ご報告します。普段は八雲中央図書館で勤務をしていて、月に何回か分館長として中目黒駅前図書館に行きますので、視点としては利用者の方の目線に近いことを現場のスタッフに伝えることができると考えています。最初の印象は、中目黒駅前図書館は、入ると貸出返却カウンターが目前にあり、予約の本だけ受け取って帰ってしまう方が多い、本棚が高く狭いわりに奥の方に行きにくい印象がありました。今年度は館内案内図を更新し、表示を見やすくする等の工夫をするとともに、奥まで入っていただくために何ができるか考えました。各館でテーマ展示の棚を作っていますが、今までやっていたものに加えて、一番奥の美術関係の書架を少し目立つようにしたら、奥までの動線ができるのではないかと思います。画集等を購入して並べ、表紙を見せるような形にしました。そのような回遊性を高める取り組みができたと思っております。

それから全館のサービスについて 3 点ご報告します。まず 1 番目に、12 月 2 日からウェブリクエストを始めました。目黒区の図書館に所蔵が無いものについて、図書館ウェブサイトからリクエストをお申込みいただけるもので、目黒区民の方のみのサービスとなります。現在、一日あたり 30 件から 40 件程度リクエストをいただいております。まず、八雲中央図書館の職員がお送りいただいた内容を確認して、仕分けをします。選書担当に回されたものは、区の基準やマニュアルに沿って、購入する、あるいは他区から借用して対応する等の判断をして、その結果を図書館ウェブサイトのマイページからご確認いただけるようになっております。

2 点目が、2 月 3 日から開始した図書館利用登録のウェブ申請です。初めて図書館をご利用になりたい方のお申し込みについて、ご来館いただく前に図書館ウェブサイトから名前、住所、電話番号を入力いただくと、受付番号をメールでお送りします。その番号を来館時に窓口で本人確認書類とともにご提示いただくと、すぐに貸出券の発行ができるものです。思い立った時にいつでもウェブ申請できるので、図書館に行ってみようという動機につながることを、窓口で申込書の記入時間の短縮を図ることを目的に始めたものです。これまでに全館で 100 件程度お申込みいただきましたが、年度替わりなど新規登録者や、来館者が多くなる時期ですので、窓口の混雑緩和にもつながればと思っております。

3 点目ですが、図書館ウェブサイトで 2 月 21 日から利用者満足度調査の結果を公

表いたしました。これは毎年図書館の業務委託について、業務内容評価の一つとして行っているもので、受託している事業者が皆様にアンケートをお配りして、ご記入いただくものです。事業者の評価ですが、いただいたご意見を業務改善提案につなげたり、開催するテーマ展示やイベントの参考にしたりする等、ご利用いただいている方のご意見を直接伺う貴重な機会と思っております。結果は館によって差はありますが、おおむね 80%から 90%の方から、「非常に満足」、「満足」という回答をいただいております。各事業者とも昨年度よりも微増しております。施設の使いやすさの項目などの事業者の努力では解決できない部分を除くと、丁寧に対応していると、おおむね良い評価をいただいております。よろしければ図書館ウェブサイトで公表しているものをご覧ください。

参加者：目黒本町図書館を中心に多くの図書館を利用しています。いくつか質問意見述べさせていただきたいと思います。1つ目は、さんまくん（検索機）で資料検索するとき、一字一句合っていないと資料に到達できません。例えば Yahoo 等では、カタカナをひらがなで入れると、この間違いではないですかと出てきますが、そういう能力をぜひさんまくんにもつけて欲しいということが要望です。2つ目は、漫画本はセットでないと予約ができず、上巻と下巻が別の図書館にある場合に、自分でその図書館まで行かないと借りられない現状です。漫画や CD、セット以外の本もぜひ、すぐ取り寄せられるようにしてほしいです。もしそれが無理であれば、いつも書架にあるのが同じ本なので、漫画本だけでも図書館ごとにローテーションで回してほしいです。漫画の冊数を減らしているようで、縮小する傾向だと思いますが、漫画を楽しむにしている利用者もいるのでお願いします。セット以外の予約ができない理由をもう一度ご説明いただければと思います。3つ目ですが、マイリストを利用して、ある日突然、所蔵があったものがゼロになってしまうことがありました。マイリストで所蔵がゼロになった状況や原因について、区から説明をお願いします。

図書館：Google や Yahoo とは検索の仕組みが違っているために、現状、あいまい検索はできておりません。検索の仕組みを変えたり、オプションでつけたりすることが可能であれば、実現すると思いますが、すぐにはお答えすることは難しい状況です。

参加者：いま難しいと分かりましたが、一字違いで、「ありません」と言われてしまいますと本当はあるのにそれを読めない人たちがたくさんいることになるので、要望としてお願いします。

図書館：3 番目のマイリストで所蔵がゼロになる理由は様々あるので、ここでそのことについて説明をすることは難しいです。

図書館：以前目黒区が財政的に困難な時期があって、その時から図書館では、コミック、CD の新規購入はしておりません。寄贈のみ受け入れていますので新しいものが少ない状況をご理解いただければと思います。また本、雑誌などの紙の資料に集中させることを継続していることを含め、コミックについてはセットのみでご予約いただくようになっております。現状としては、入れ替えが困難ということで、職員やスタッフが日々劣化や汚れ等を確認して、廃棄もしています。そのような状態のため、予約で取り寄せをすることも難しい状況です。

参加者：やはり利用者ありきの図書館だと思うので、利用者が読みたい本を予約、取り寄せできるようにしていただきたいです。さんまくんで検索すると、この図書館にあると結果が表示されるのに取り寄せできないものがあるので、取り寄せできるようにしてください。漫画の本が少なくなった分、なおさらそういう要望をいれてほしいと思います。

図書館：以前から同様のご意見・要望受け止めております。検討も進めていきます。

参加者：障害者サービスについて、私がいくつかの図書館を見て歩いて気づいた点を話します。まずは八雲中央図書館のレファレンスカウンターのお客さんが座る前の壁に、「あまり大きい声を出さないで、他の人のことも考えて」という張り紙がありますが、高齢になり難聴になってくると声が大きくなってしまいます。特にレファレンスは話し合いをするところで、しっかり調べてもらいたいと思うので声を出すことになります。しかしこのような張り紙があると、うるさいのかなと思って、ゆったりとレファレンスが受けられないことがあります。

それから、目黒本町図書館が障害者サービスを担当している館になりますが、1つ目は本を並べている書架の一部、一番下の辺りが奥に向かって下がっています。下がっているから、本を前揃えに並べたときに小さい本が落ちやすく、奥に入るととても見にくいです。特に高齢になると、一番下の奥から探すのはとても大変です。それについてカウンターで聞いたら、「ここは障害者サービスの拠点なので、車いすを使っている人がまっすぐ立っている本は見えにくいので、少し斜めにしています。だから仕方ないですね」と言われました。しかし、一つの障害をカバーしようとする、新たな障害が出てくることがあるので、気がついているかなと思いました。

2つ目はカウンターの向かい辺りに「読書バリアフリー」と書いてあります。そこに色々本が置いてありますが、それを一般の人が分かってみるだろうかという気がしました。もう少し展示の仕方を考えたらどうかと、職員に話すと、「もう皆さん分かっていて、目の不自由な人や、必要な方はここから選んでいきます」という言い方でした。また、「読書バリアフリー」についてや、展示されている本について、カウンターで聞いても、よく理解しておらず即答していただけません。

障害者サービスの資料は、障害者だけではなく、皆が見て分かって知っておくことも大切だと思います。障害があると、来られない人や使わない人がいると思います。障害もいろいろありますが、聞かれたときに、〇〇図書館にあったとか、知っておくと伝えられると思います。障害のためと思ってやっていることが、別の障害を生んでしまうことがあるということと、障害というのは決して目が見えない、耳が聞こえないだけではなく、読書がしたくても結びつかない不利な条件はすべて障害だと、以前の利用者懇談会の時にお話があり、納得したことがあります。

図書館：先日そういうご意見をいただいたことは分館から報告を受けています。令和5年にスタッフから目黒本町図書館は障害者サービスの基幹館になっているので、「りんごの棚」というバリアフリー用の本を集めた棚が必要ではないかという提案があり、設置したものです。ご指摘いただいた通り、こちらに配慮するとあちらに問題が生じるということが、多々あるかと思いますが、ご意見いただいて、お互いに納得で

きる到達点を探していきたいと思います。一朝一夕にということは、難しいところですが、長い目で変えていきたいと思っています。職員や各館スタッフとも情報共有してまいりますので、これからもご意見を寄せて頂ければ有難いと思います。

図書館：張り紙については、必要がないのに大きな声で雑談される利用者がおられ、大声出さないようお願いしても難しかったので、説得するために貼ってみたものですが、少し表現を考えたいと思います。

参加者：図書館で大きな声を出して、うるさいというのは分かります。言いたいのは分かりますが、レファレンスは声を出してやりとりするところなので、声を出さないではなく、違う席やこちらで伺いますとかにしたほうが良いと思います。そうしないと、どうしても委縮して行けない方もいらっしゃると思います。

参加者：老若男女、日本人でない人や障害者の人でも、誰もが利用できるような運用を心掛けていただきたいと思います。

「ちょっと大人のおはなし会」が始まり参加しましたが、残念ながらコンテンツが無かったです。日本のアニメや漫画が世界の人々に共感を与えているのは、コンテンツがあるわけです。日本の伝統文化、読書ということで伝えていって、徐々にコンテンツを充実させていってください。

参加者：目黒区立図書館の 50 年というパンフレットが出たあと、目黒区立図書館の 60 年というのが実現しないでそのまま過ぎていきます。たぶん 70 年になると思うので、目黒区立図書館の歩んできた記録、工夫して実現してきたあゆみ、これを近いうちにぜひ発行していただきたいと思います。

参加者：バリアフリーという概念が図書館の中で一般的になってきて、ここの図書館でもバリアフリー図書がありますが、スペースが小さすぎて点字の本しか置いていません。誰でも本に親しめる時代にしようという動きがあり、私も協力しています。私は 2006 年から 2015 年まで多言語絵本の読み聞かせを八雲中央図書館でやっていました。はじめての取り組みではなかったのですが、忘れられてしまっていて、はじめてということで参加しました。子どもの参加はなくて大人ばかりでした。でもとても上手で、読み聞かせだけでなく、モンゴルと韓国とインドネシアの 3 国の文化紹介のコーナーもあって、とてもよかったと思います。本探しのところで目黒区はすごく本が揃っています。多言語の読み聞かせを大人対象だけではなくて、子どものためにもやっていただきたいと思います。読書週間を外国人の子どもも対象に考えたものにしてほしいです。よろしくお願いします。

参加者：区報にも載っていますが、除籍のところで、無償でリサイクル本を提供しますと出ていますが、たぶんその図書館にある本をそのまま置いていると思います。ぜひ広報やさんまくんを活用して、リサイクル本が今出ていることを周知徹底してもらいたいです。本屋が減っていて、本の値段も高く、もし無償で自分の読みたい本が手に入るのであれば欲しいと思います。廃棄する本もできれば無償で提供して、そういう情報をもっと広く公開して、欲しい人にリサイクル本として手に入るようにしてください。

参加者：パソコンを持っていないので、八雲中央図書館でいつもインターネットの検

索を使っています。ただブロックが強すぎて、あいだに認証が入っていると通らないことがあります。Google も使えないこともあり、一時的な障害だと思っていましたが、あれはポリシーとして、意図的にやっているのでしょうか。

それからコミックですが、ときどき寄贈しております。そちらの都合があり、寄贈しようとしても受け入れていただけない場合があるので、どうか迷っています。もし受け入れていただけるのであれば、寄贈したいと思っています。

図書館：Google の件はこちらも困っておりまして、技術的な部分のサポートなども受けながら対応を準備しているところです。長期にわたって申し訳ありません。

参加者：他の利用者の鼻をかむ、咳をする音が気になって、職員に相談させていただき、声かけしていただきました。ティッシュ箱を置いて、鼻をかんだ紙を机に置いている方も、結構いらっしゃいます。コロナの時から何年か過ぎたと思いますが、個別対応もいいと思いますが、仕切りなどのところに注意書きをしていただけると、減るのではないかと思います。

各館で特色をというお話がありましたが、各館それぞれ注意書きの内容が違います。そこはある程度統一した方が、利用者としては利用しやすいと思っています。

参加者：目黒区民センター図書館を利用しています。各館からあがってきた区民の方のご意見、ご要望等々には対処されていると思いますが、「この館はこういうご意見をいただき、今このように改善いたしました。」という流れを皆様にお伝えする場を設けたらいいのではと思いました。そうすればお互いが、こんな意見を言ったら、こうやって改善してくれた、もっと良くするのであれば、こうしたらいいのではないかとお互いが歩み寄れるのではないかと感じました。今後そういう取り組みをしていただければ幸いです。

参加者：利用者懇談会の結果を職員にどのように伝えていますか。利用者懇談会で提示された意見を知らない職員が結構いて、疑問に思いました。

図書館：利用者懇談会の結果については、記録がまとまりしだい、朝のミーティングの場で、出勤している職員が極力多い場で伝えています。どうしてもなかなか全員が一同で揃うことが難しいので、係ごとにそれぞれ記録を確認して、ご意見ご要望いただいた項目ごとに、どこの係で検討を進めていくのが妥当かということ話し合い、共有します。短期間である程度対応できそうなこともあれば、どうしても長期的にお時間いただかないと難しいこともありますので、意見要望事項の具体的な内容に応じて検討を進め、職員への周知とその後の対応をしております。

参加者：各分館の職員にはどのように伝えていますか。

図書館：各分館に対しては、区立図書館全体で統一的な対応をすると決まった場合に、定期的な分館ごとの連絡会で区の職員から伝え、館ごとに対応が異なることがないように運用しております。

4 閉会（八雲中央図書館長挨拶）

図書館長：本日はご意見頂戴いたしまして、ありがとうございます。お時間をいただかないと検討が難しいこともありましたので、できるかできないかも含め、まずは

いただいたご意見を踏まえて検討したいと思っております。こういった場で皆様の意見を伺いますと、総じて図書館に期待していただいているからこそ、お忙しい中いらしていただき、発言してくださっていると思います。利用者の方の生の声ということで、できる限り対応していきたいと考えておりますので、引き続き区立図書館をご利用いただきたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

図書館：本日の利用者懇談会を終了させていただきます。次回は未定ですので、あらためて、区や図書館のウェブサイト、広報めぐろ、SNS で募集したいと思っております。ぜひまたご参加ください。本日はありがとうございました。

以 上